

# 水道がなかったら

水道がなかったら、川や井戸の水をそのまま使うことになって、運ぶのも大変だし、水質が不安定でばい菌などもたくさんいるから、お腹を壊したり、病気になったりしてしまいます。今、生活しているほとんどのことができなくなってしまいます。

じゃ口から安全で安心なお水が出るのはとても大切なことなんやあ。

今ではじゃ口をひねると当たり前に出てくる水は、人間の生活になくてはならない生命の水です。「水」を守るためにはみなさんの力が必要です。川が汚れては水道水をつくるのも大変になりますので、ゴミを捨てないなど、自然に優しくしましょうね。

あ～、のどがかわいた！  
帰ってお水飲もつと。

# 池田の 水道

池田市上下水道部  
池田市大和町1-10 TEL (072) 752-1111 (代表) <https://www.city.ikeda.osaka.jp/jogesuido/index.html>

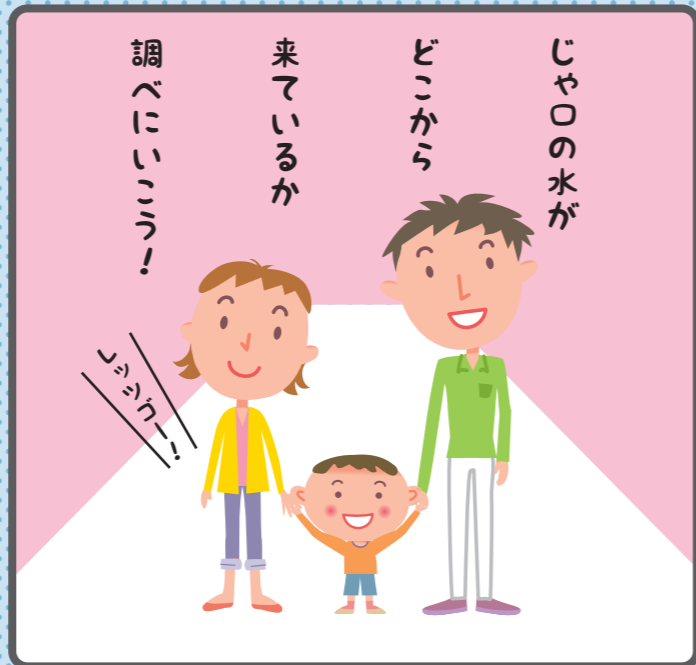
池田市古江浄水場  
池田市古江町160 TEL (072) 751-8158

令和5年3月 作製

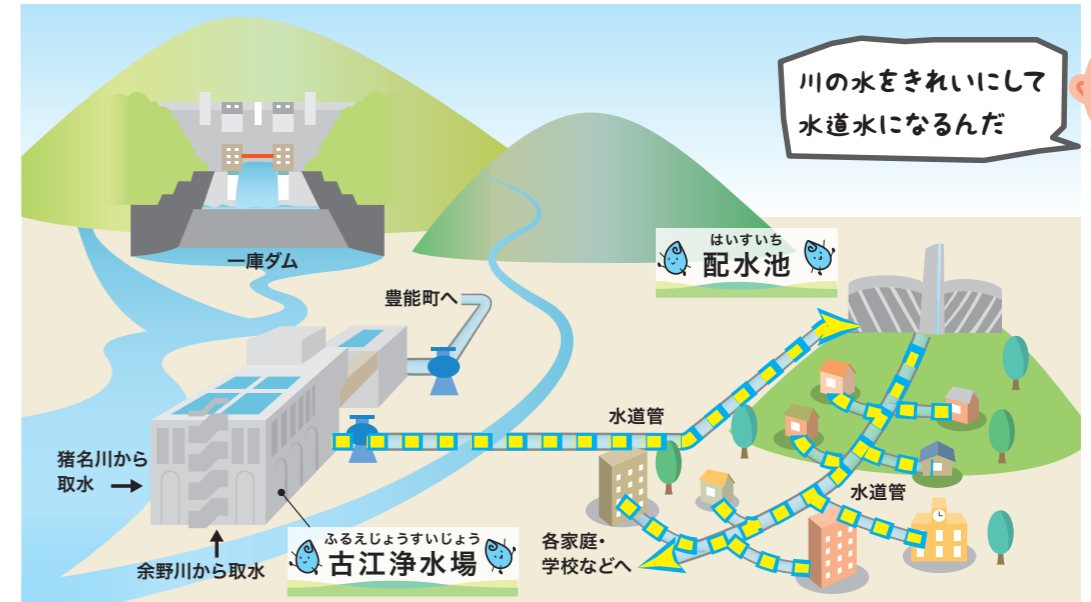


# Suido

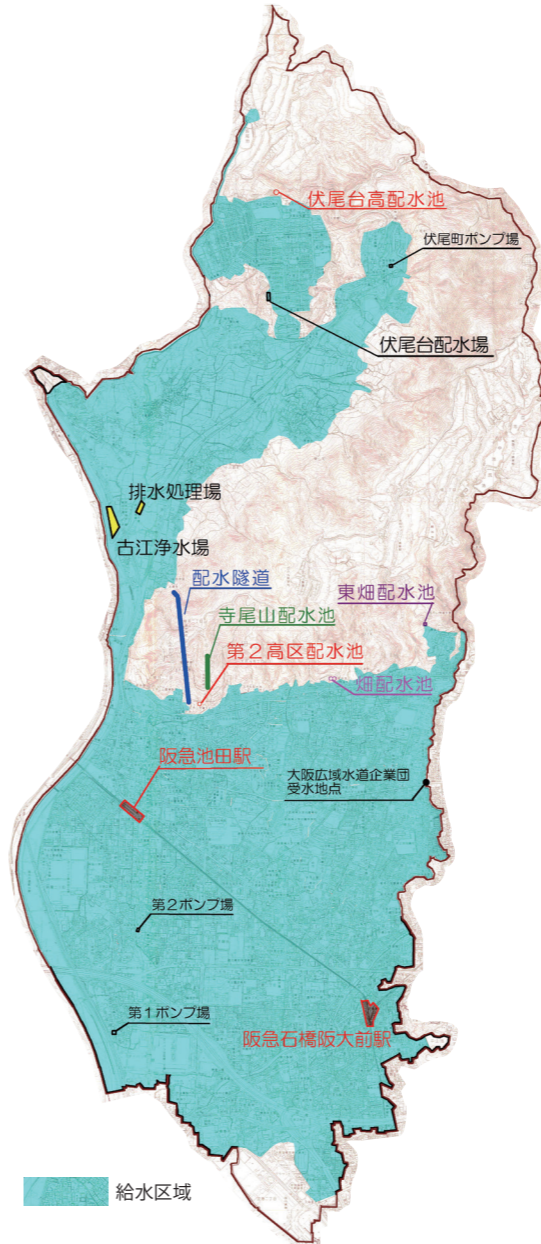




■池田市の水道施設 水道水は、「猪名川」と「余野川」の水を「古江浄水場」で飲めるまできれいにし、「配水池」「水道管」を通して家庭や学校、工場などで使われています。



■給水区域図



■池田の水道の歴史

名称	起工年月日 ↓ 竣工年月日	事項
創設	昭和12年12月27日 ↓ 昭和16年3月31日	◆当初は深井戸を水源とした上水道を計画していましたが、水質が不適であったため、余野川からの取水に変更し、施設は木部浄水場配水池を建設。
第1次拡張事業	昭和26年4月1日 ↓ 昭和30年3月31日	◆戦後の人口増加に対応し、急速ろ過池増設。
第2次拡張事業	昭和31年1月10日 ↓ 昭和31年5月31日	◆畑方面に給水するため、加圧ポンプ場と配水池を築造、配水管1,415mを布設。
第3次拡張事業	昭和32年11月19日 ↓ 昭和36年11月30日	◆五月丘公園住宅に給水するため、五月丘5丁目に加圧ポンプ場及び配水池を築造、配水管11,000mを布設。
簡易水道事業	昭和33年2月15日 ↓ 昭和33年3月31日	◆伏尾地区には、昭和33年から平成6年まで簡易水道として給水を実施。
第4次拡張事業	昭和39年4月1日 ↓ 昭和46年3月31日	◆急激な人口増加に対応するため、古江浄水場3系施設(15,000m <sup>3</sup> /日)、配水隧道を築造。
第5次拡張事業	昭和46年4月1日 ↓ 昭和59年3月31日	◆水源を一庫ダムに31,500m <sup>3</sup> /日求めて、古江浄水場1,2系施設(54,000m <sup>3</sup> /日)、配水池を築造。
配水施設整備事業	昭和61年4月1日 ↓ 平成3年3月31日	◆畑5丁目区域への円滑な給水を確保するためポンプ場と配水池を築造。
第6次拡張事業	平成6年4月1日 ↓ 平成23年3月31日	◆危機管理の観点から複数水源を確保するため、大阪府営水道(現大阪広域水道企業団水道)を導入。未給水区域を解消。また、施設の機能更新と統廃合・危機管理を目的として、寺尾山配水池を築造、配水隧道の改良工事を実施。浄水場についても水処理施設の改良更新事業を実施。
施設整備事業	平成23年4月1日 ↓ 令和5年3月31日	◆老朽化施設の更新や耐震工事等を実施
第2次施設整備事業	令和5年4月1日 ↓	◆危機管理体制の充実 ◆老朽化施設の更新

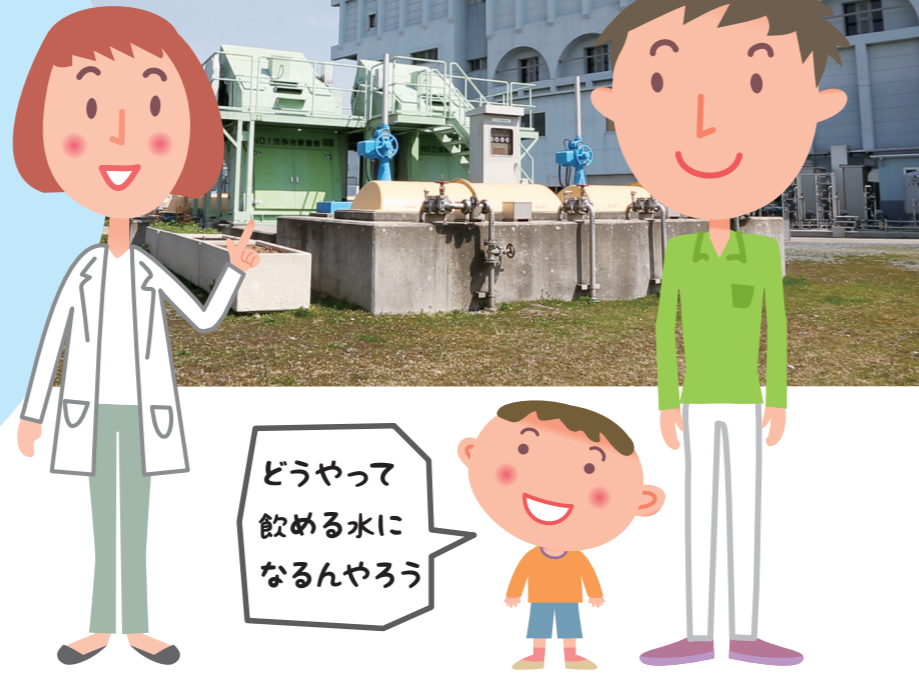
一庫ダムの建設などで  
湯水の心配がずいぶん  
減ったのよね



水道水がどうやって出来るか見てみよう

# 水道の役割

- 飲み水や生活をするための水
- 病院や工場で使う水
- 消防車が火事を消すための水
- その他いろいろなところで使う水

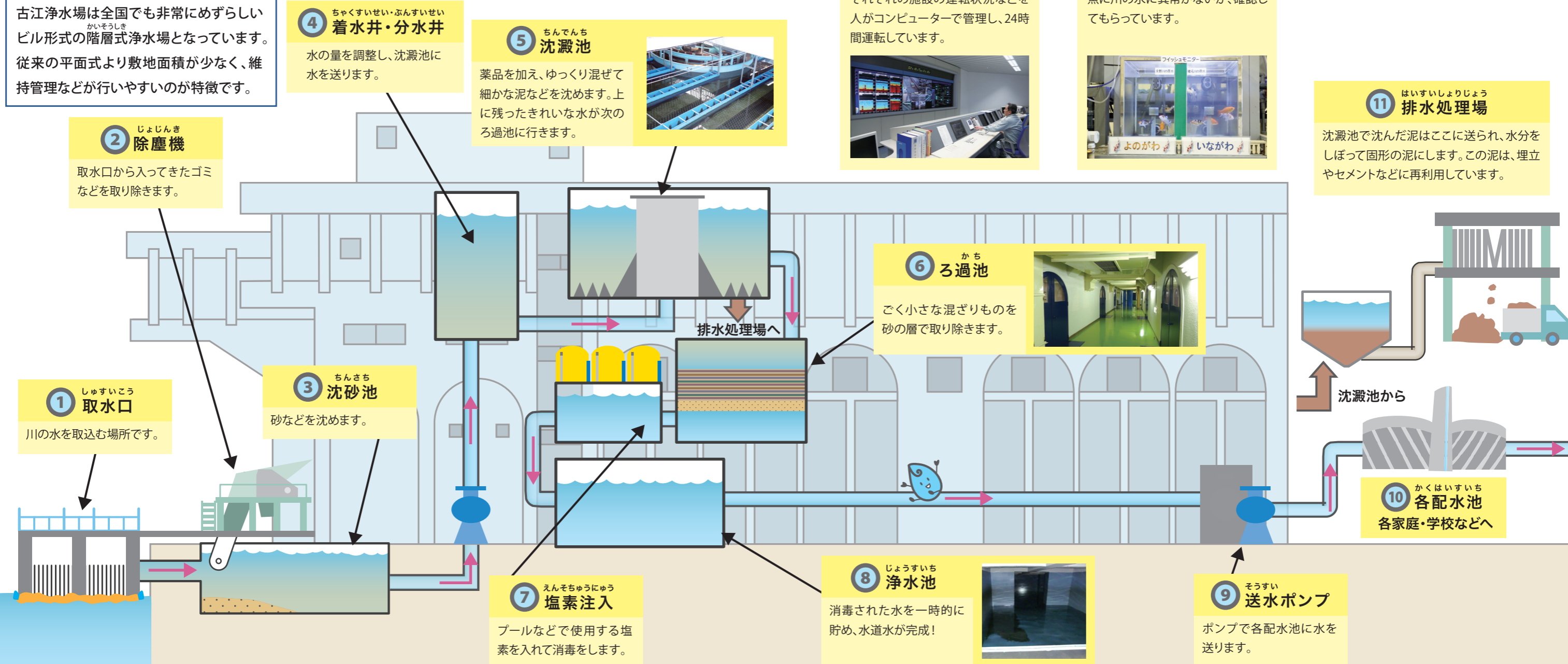


どうやって飲む水になるんやろう

## ふるえじょうすいじょう 古江浄水場のしくみ

### 古江浄水場の特徴

古江浄水場は全国でも非常にめずらしいビル形式の階層式浄水場となっています。従来の平面式より敷地面積が少なく、維持管理などが行いやすいのが特徴です。



## ■池田の配水池

配水池は、五月山のふもとに多くあり、浄水場から送られた水を貯めて、高いところから低いところへ流れる水のしくみを利用して、各家庭や学校、工場などにお届けする施設です。

配水隧道



寺尾山配水池



第2高区配水池



畑配水池



東畑配水池



伏尾台配水場



伏尾台高配水池



### 12 中央管理室

それぞれの施設の運転状況などを人がコンピューターで管理し、24時間運転しています。



### 13 フィッシュモニター

魚に川の水に異常がないか、確認してもらっています。



### 11 はいすいしよじょう 排水処理場

沈澱池で沈んだ泥はここに送られ、水分をしぼって固形の泥にします。この泥は、埋立やセメントなどに再利用しています。



### 10 かくはいすいち 各配水池

各家庭・学校などへ

## ■水質検査



水道水は、みなさんが安心して飲めるように、約200項目の検査を実施しています。安全な水をお届けしていますので、安心してお飲みください。



## ■水道管

浄水場で出来た水を配水池へ送るまでの管や配水池から各家庭や工場などに届ける管のことで、道路の下に網の目のように埋設されています。水道水を安定的にお届けするために、管を洗ったり、古くなった管を新しく地震に強い管に替えたりしています。



## ■防災の取組み

### ●地震対策

老朽管を耐震管に取替えるとともに、古江浄水場施設などの耐震化を推進します。

### ●BCP

BCPとは事前対策から復旧活動計画、訓練計画などをまとめた計画で、施設の早期復旧ができるよう定期的に訓練を実施しています。

### ●合同訓練

近隣の市とお互いに水道水のやりとりが出来るように協定を結んで、合同で訓練をしています。

### ●耐震性貯水槽・防災備蓄倉庫

耐震性貯水槽は大規模な地震が発生したときに、市民の皆さまの飲料水を確保します。防災備蓄倉庫には飲料水を配布するための資材や給水車などが保管されています。



池田市・川西市合同訓練

### ワンポイントアドバイス

地震などで水道水が届けられなくなった時のために、ペットボトルなどで水道水を保管しておきましょう！目安は、ひとり1日あたり3リットルを3日分。保存期間は3日間。



## ■一庫ダム

一庫ダムは安定した水源の実現、下流域の洪水の防止などを目的として建設され、みなさんの生命と財産を守る重要な役割を担っています。



## ■池田市上下水道ビジョン

現在、上下水道事業は、施設の老朽化、お客様ニーズの多様化、頻発する自然災害、さらには社会情勢の激変など、乗り越えていかなければならない多くの課題を抱えています。この山積する課題を解決し、事業を将来にわたって継続していくための方針・方策をお示すため「上下水道ビジョン」をきっかけ、安定・安心・持続・環境の4本の柱を軸に、上下水道事業の目指すべき姿に向け、健全な水環境を次世代につなげていきます。



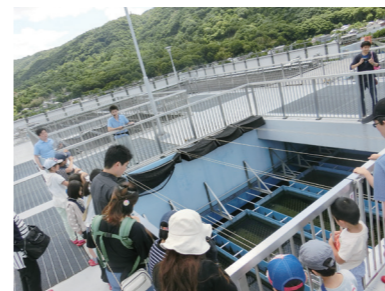
## ■水道料金

水道料金はご家庭のメーターを検針し、使用水量について下水道使用料と併せてお支払いいただいています。お支払いいただいた料金は、安全で安心な水を安定的にお届けするために使用しています。



## ■水道に関するイベントのご案内

- 水道週間(6月1日～7日)
- 浄水場一般見学会
- 小学生書道展



浄水場一般見学会



書道展

## ■池田市上下水道部のロゴ・マーク



上下水道部

- 虹はお客様と私たちの「架橋」「絆」
- 双葉は「アイデア」「環境」
- 水玉型の枠は「水環境」「水循環」
- AQUAは「上下水道ビジョン」
- キャラクターは「事始めの一滴」
- キャラクターの名前は「ぴちゅりん」

※イベントの内容は年度によって変更する場合がございます。詳細は、年4回発行の「水だより」またはホームページで随時お知らせいたします。